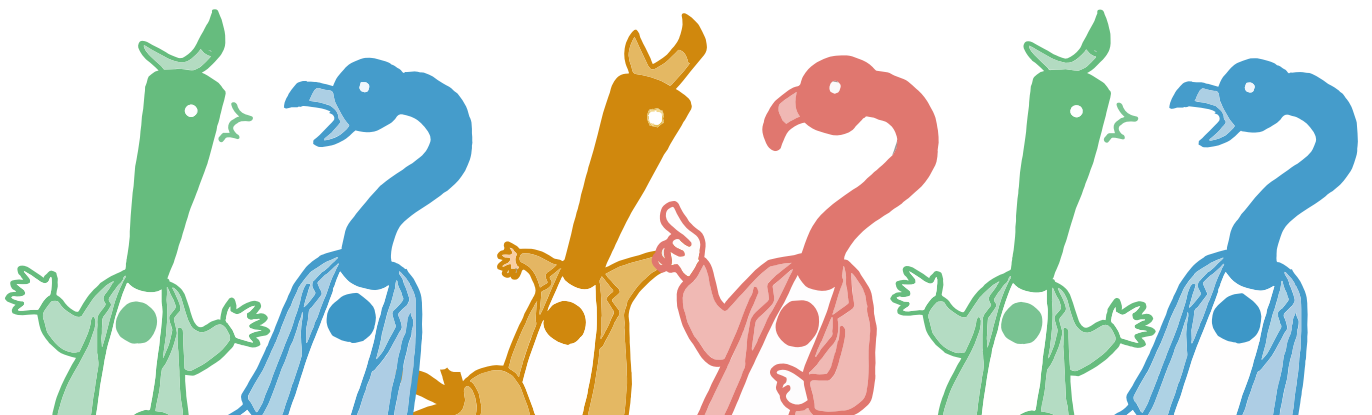


令和  
7年度

# 土木職員紹介

静岡県



# はじめに

## 土木職員の使命

土木職員の仕事は、道路、まちづくり、治水など様々な分野の社会インフラ整備です。

これらの社会インフラは、県民の毎日の暮らしの中で利用されるとともに、地震・津波・豪雨等による災害から人命・財産を守るなど、非常に重要な役割を担っています。

富士川かりがね橋（県道富士由比線：富士市）



令和6年3月完成

社会インフラの整備については、長らく建設に力点を置き量の拡大を目指してきましたが、以前のように多くの予算を投入できなくなっている状況の中で、量から質への転換が求められるようになりました。

このような時代の変化にあっても、必要な建設は推進し、施設を安全な状態に維持・管理するという土木職員の使命は変わりません。

現在、静岡県では700名以上の土木職員が、必要な社会インフラを建設、また、施設を安全な状態に維持・管理し、県土の発展や、県民の生活の向上などを支えています。

## 土木職員に求められるもの

県では、事業を進めるにあたり計画作りの段階から地域の方が参画する「協働」や、事業について地域の方に正しく伝わる広報に、積極的に取り組んでおり、地域の方々と触れ合う機会が増えています。

そのため、土木職員に求められるものは、相手の意見に耳を傾け、その意見に対し自分の考えを的確に伝えることができる「コミュニケーション能力」です。コミュニケーション能力は、迅速な対応を求められる災害時等において、組織一丸となって仕事を進める上

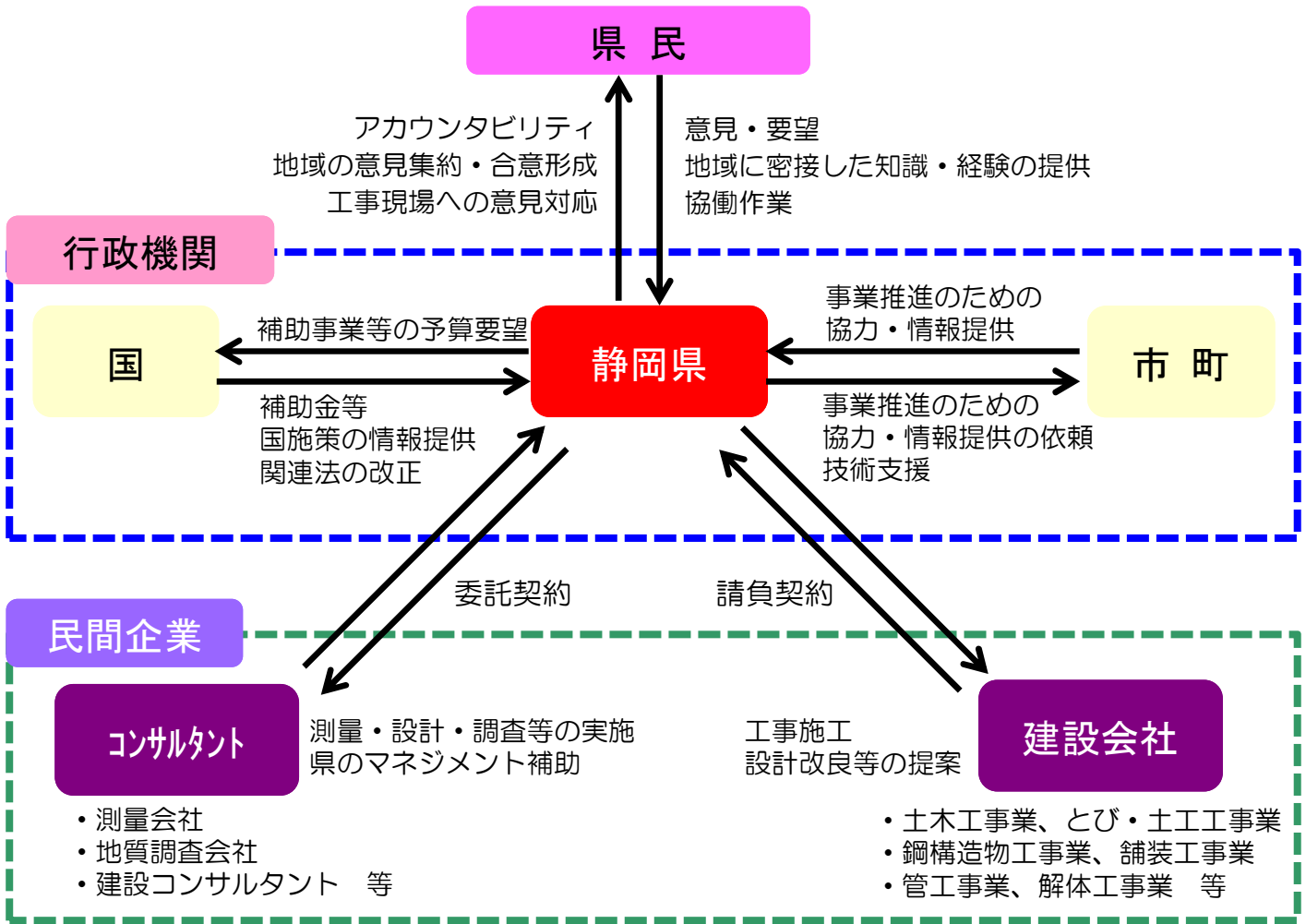
でも非常に大切なことです。

また、組織の実行力を高めるため、「コミュニケーション」以外の『能力』である「マネジメント」、「スキル」について、日々、磨きに努める姿勢が求められています。



# 県が実施する社会インフラの整備

県では、県民からの意見や地域の課題に対し、国や市町、民間企業と協力して社会インフラの整備を実施しています。

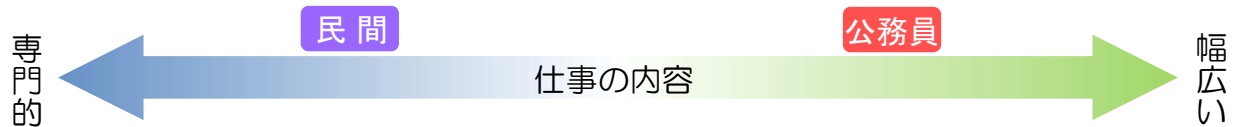


(注) この図はイメージであり、当てはまらない場合もあります。

## (参考) 民間、国、市町との比較

※ 長期的・大規模な仕事から、住民密着の仕事もあり、幅広い経験ができます。

民間と公務員の違いは？



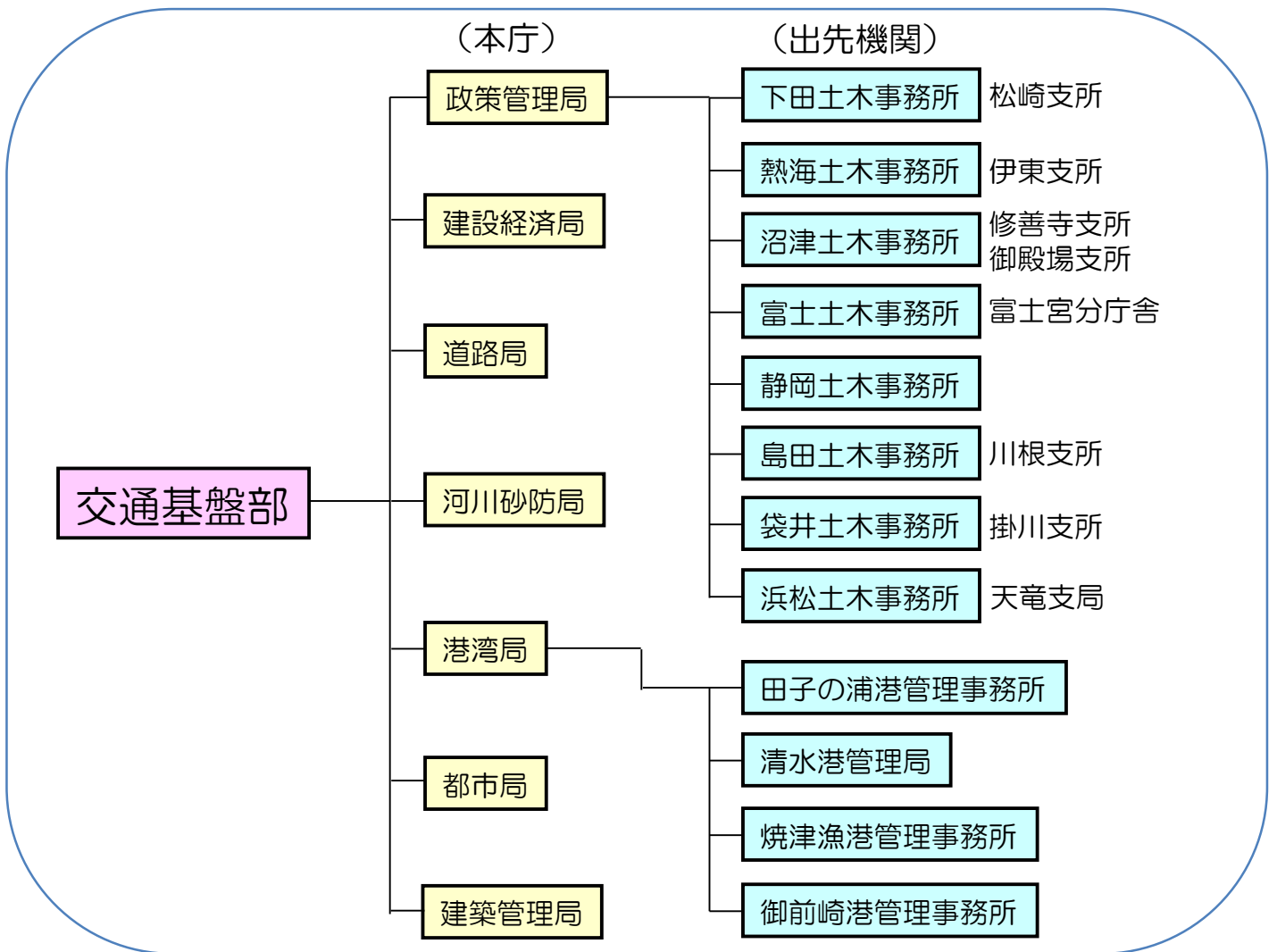
国、市町との違いは？



(注) このグラフはイメージであり、当てはまらない場合もあります。

# 土木職員のジョブローテーション

土木職員は、主に社会インフラの建設、維持・管理を担う交通基盤部の本庁または出先機関に配属され、主査クラスまで（40代半ばまで）は、3年を目途に異動しています。



一定程度の経験を得たのち、交通基盤部以外に配属されることがあります。

## 他部局（本庁・出先機関）

危機管理部、経営管理部、くらし・環境部、スポーツ・文化観光部、企業局、警察 等

## 国・市町派遣

国土交通省本省  
国土交通省中部地方整備局  
県内市町

## 大学

政策研究大学院大学

## 民間企業

富士山静岡空港(株)

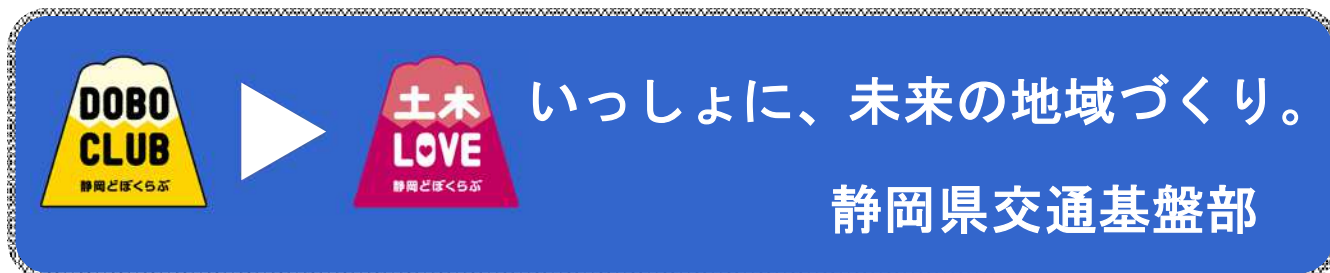
## 外郭団体

静岡県道路公社  
日本下水道事業団（県内）  
一般社団法人 清水みなと  
まちづくり公民連携協議会

# 交通基盤部

## 交通基盤部の基本理念

土木職員の多くが所属する交通基盤部では、社会インフラ整備を県民の視点に立ち、いっしょに進めていくことが重要であるとの思いから、基本理念を定め、取り組んでいます。

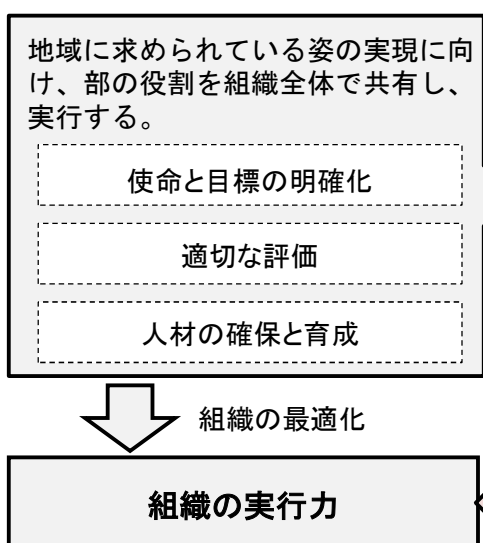


## 交通基盤部の行動指針

- ・県民の視点に立って、地域の皆さんと協働で仕事を進めます。
- ・地球環境のために資源3Rの循環型社会をめざします。
- ・つねにコスト・時間を意識して、生産性の向上に努めます。
- ・私たち全員がコンプライアンス(法令遵守)を徹底します。
- ・情報をオープンにして、つねに広報・広聴に努めます。
- ・事業を超えて連携し、効率を高めます。
- ・県土づくりの専門家として、つねに技術力を磨きます。

## 組織の目指すべき姿・技術者のあり方

### ■組織の目指すべき姿

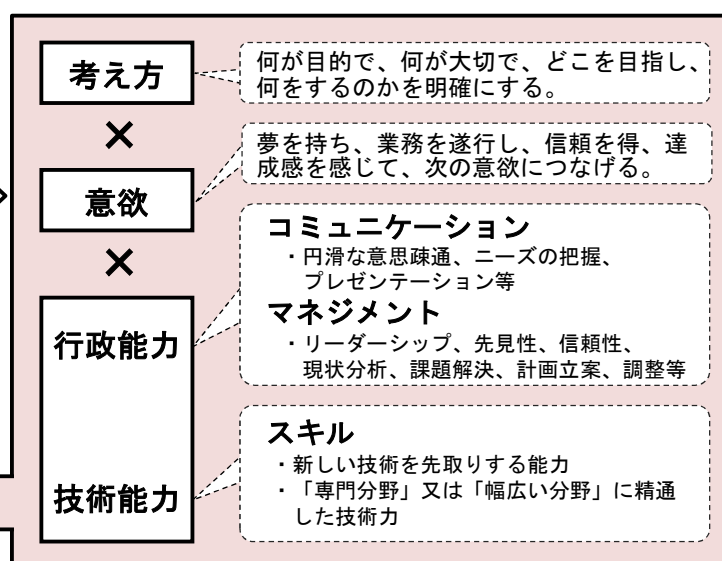


個人に求める能力

個人能力UP!!

### ■技術者のあり方

個人の能力を高め、技術者としての自信と誇りを持つ。



# 交通基盤部

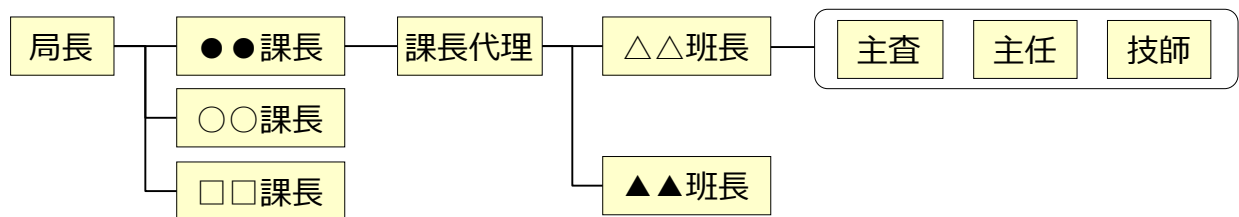
## 本庁の業務内容

事業を所管する局（道路局、河川砂防局など）は、担当事業における県全体の予算管理や計画調整の業務を行います。県全体として事業効果が効率よく速やかに発揮できるように、予算管理する部局、国の担当省庁、市町及び関係団体と調整します。

政策管理局や建設経済局は、広報、技術支援、検査などを担当し、事業が円滑に行われるための環境づくりを行っています。

事業担当	政策管理局	：政策調整、広報
	建設経済局	：技術支援、新技術、検査
	道路局	：道路、橋梁、トンネル
	河川砂防局	：河川、海岸、砂防 災害復旧
	港湾局 都市局	：港湾、漁港 ：都市計画、景観 街路、公園、地域交通、 下水道

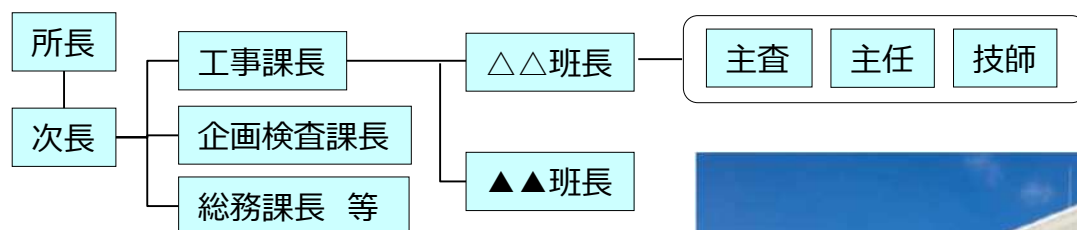
## 本庁の組織体制（例）



## 出先機関の業務内容

出先機関では、主に、管轄地域における道路、河川、港湾などの社会インフラの建設、維持・管理、災害復旧、地域住民への説明や情報提供を行っています。（詳細は次ページ）

## 出先機関の組織体制（例）



土木事務所：下田、熱海、沼津、富士、静岡、島田、袋井、浜松

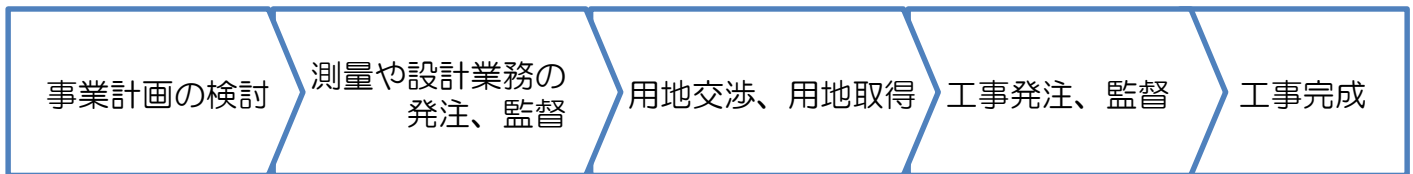
特設事務所：田子の浦港管理事務所、清水港管理局、焼津漁港管理事務所、御前崎港管理事務所





# 出先機関の業務内容

## 社会インフラ整備の流れ（例）



## 土木職員の主な役割

### ①事業計画の検討

- ・ 地元や市町からの要望、災害や事故の履歴、現地の調査などを行い、事業の必要性を確認します。
- ・ 実施する事業の内容、期間、費用などの検討を行います。

### ②監 督

- ・ 現地の測量、構造物の設計、工事施工などは、入札により県から民間企業に発注します。
- ・ 民間企業が行う測量、設計、工事などの執行状況の確認、把握等を行い、契約の適正な履行を確保する業務（監督）を行います。











現場での打合せ

### ③地域住民への説明や情報提供

- ・ 事業を進めるにあたり、用地提供や工事の影響などがあることから、地域住民の理解、協力が必要となります。
- ・ 事業の計画段階から様々な場面で住民説明会、SNSを活用した情報発信などを実施します。



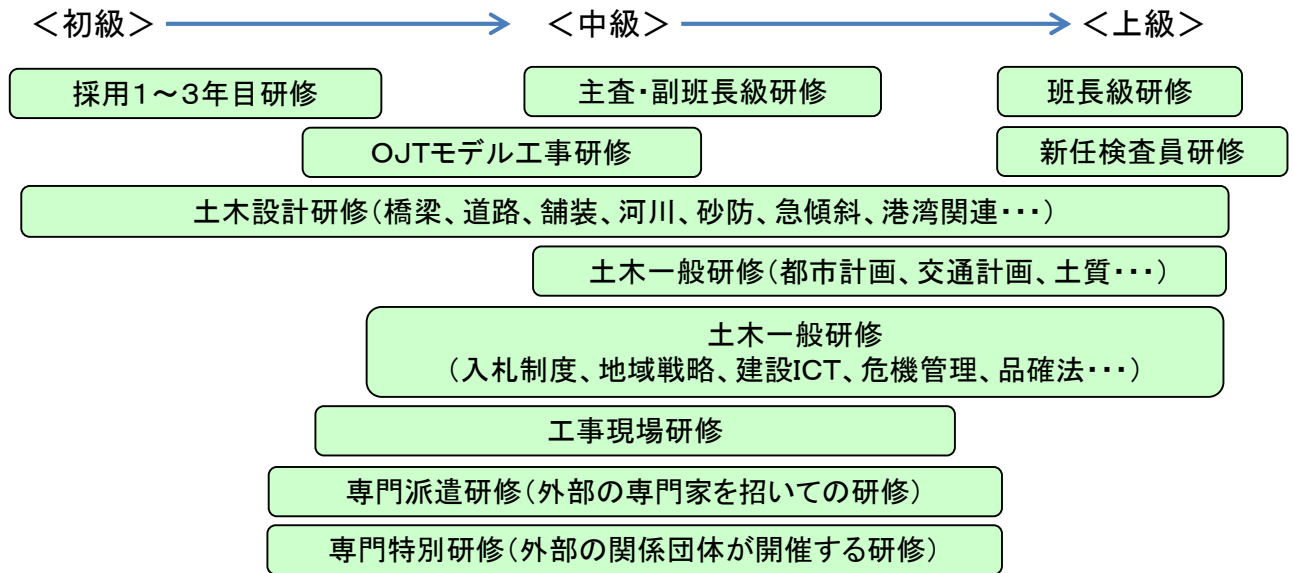
住民説明会

Instagram	Twitter	Facebook
 島田土木事務所	 下田土木事務所	 沼津土木事務所 (鉄道高架事業)
 田子の浦港	 熱海土木事務所	 公園緑地課 (遠州灘海浜公園)
 道路局	 富士土木事務所	

SNSを活用した情報発信

# 人材育成（技術職員研修）

土木職員は、全職員が受ける研修にプラスして、土木職独自の研修を受け、業務遂行に必要な力をつけていきます。採用1～3年目までの初級研修をはじめ、職位に応じた研修や橋梁、道路、河川や砂防などの設計研修、さらに最新の行政課題を取り上げたテーマ別研修など、様々な研修を実施しています。



\*行政職員の研修は、「令和7年度静岡県職員採用総合案内」を御覧ください。

## 採用1年目研修（4日間）

静岡市駿河区用宗にある建設技術監理センターで、同期の職員や市町の職員と、土木職員としての基本的事項の研修をします。

- ・土木技術公務員基礎
  - ・測量概論・演習
  - ・建設業法・入札制度
  - ・積算の基礎
  - ・災害復旧事業概論
  - ・積算の基礎
  - ・協働の取組
  - ・水防概論
- ※その他多数

## チューター制度

土木職員にもチューター制度があります。身近な先輩が「チューター」として業務のサポートをしてくれます。

## OJTモデル工事研修

On The Job Training として、実際の工事の担当監督員となり、先輩のサポートを受けながら、業務を通して、必要な知識・技術・技能・態度などを修得し、業務処理能力や力量を育成します。



# 先輩職員の声

**所属** 交通基盤部 道路局 道路整備課  
(R6年度時点) **技師** 進藤 美希 (令和2年度採用)

## 現在の仕事

道路整備課の県市町道班で、県内の交通安全事業を担当しています。予算の管理と事業の進捗管理をしています。

## 静岡県職員（土木）を目指したきっかけ

大学で県外に出たことをきっかけに、静岡のよさを改めて実感し、戻ってきたいと思いました。

市町に比べ、県ではより規模の大きな仕事ができると思ったので、県を志望しました。

## 入庁する前に不安だったことと、その解消について

大学の専攻があまり土木らしくないものだったため、ついていけるか不安だったのですが、先輩方が優しく教えてくださり、色々学ぶことができました。

## 未来の後輩に向けてひとこと

アルバイトは今しかできないので、ぜひ楽しんで色々な経験をしていただきたいです。また、たくさん旅行に行って色々な世界を見て視野を広げていただきたいです。



▲お昼休みは公園でキャッチボール

**所属** 交通基盤部 建設経済局 技術調査課  
(R6年度時点) **技師** 荒川 泰穂 (令和2年度採用)

## 現在の仕事

工事に係る基準書の作成や問合せ対応等、基盤となるような業務を行っております。直接的な工事とは離れていますが、とても重要な役割の仕事であり、やりがいを感じております。

## 静岡県職員（土木）を目指したきっかけ

父が土木施工業者として働いており、仕事に一生懸命な姿を見てきました。そんな父から、県職員（土木）はどうかと提案があったことが一つのきっかけになりました。

## 職場の雰囲気

すごく気さくな方々で、わからないことも聞きやすいです。休憩のときには雑談したりと、働きやすい環境です。

## 未来の後輩に向けてひとこと

特に何をやっておいた方が良いというものはないですが、何でもいいので、夢中になれることや楽しいことを続けることが大切だと思います。学生生活、頑張ってください。



▲休日は職場の仲間とライブ参戦

# 先輩職員の声

**所属** 交通基盤部 河川砂防局 土木防災課  
(R6年度時点) **技師** 山田 凌也 (令和5年度採用)

## 現在の仕事

災害を防ぐためのソフト対策に取り組んでいます。県民のみなさんに、水位や雨量、気象情報等の避難に資する情報を「サイボスレーダー」で提供するために、河川監視カメラの設置や観測機器の維持管理を行っています。

## これまで仕事をしてきた中で、うれしかったこと

小学生を対象に開催している県庁見学です。水災害の危険性や職員の仕事内容を紹介しています。災害の写真を見て、声を出して驚いている様子や、一生懸命話を聞いてくれる姿を見ると説明していて嬉しいです。最近では、人生で初めてサインを求められました！

## 入庁する前に不安だったことと、その解消について

入庁するまで具体的に何の仕事を行うかわからなかったことです。実際に、どんな仕事をするか想像できず不安でした。

しかし、入庁した際には、先輩方が優しく教えてくださり、徐々に仕事を覚えることが出来ました。

## 未来の後輩に向けてひとこと

土木職員は、大学で土木を学んでいない方も多くいます。私は、毎日勉強しながら業務を行っています。研修制度も充実しており、誰でも土木職員を目指せることがいいところです。静岡県の土木職は、元気な方が多く楽しく業務に取り組んでいます。



▲県庁見学で小学生に仕事内容を紹介

**所属** 交通基盤部 富士土木事務所 富士宮分庁舎  
(R6年度時点) **技師** 高橋 陽 (令和6年度採用)

## 現在の仕事

富士宮市内の道路工事や河川工事の発注業務・監督業務を担当しています。富士宮市が生活しやすい場所になるように考えながら日々仕事をしています。

## 静岡県職員（土木）を目指したきっかけ

富士川に新しく架かった「富士川かりがね橋」ができるまでの過程を高校の登下校時に見てきました。その時私は、「自分もこのような大きな構造物を造る仕事に携わって、生まれ育った静岡県に貢献したい。」と思い静岡県の職員を目指しました。

## これまで仕事をしてきた中で、印象に残っていること

富士山の登山道パトロールです。富士山の富士宮口は富士土木事務所が管理しており、登山シーズン中の安全を確保するため、頂上まで登ってパトロールをしてきました。いつか登ってみたいと思っていたのと、このような仕事も土木事務所の仕事と知りとても印象に残っています。

## 未来の後輩に向けてひとこと

土木は、人々の生活にとっても直結している職業なので、やりがいのある魅力的な職業だと思います。また、優しく何でも教えてくれる先輩方がたくさんいるので、安心して採用試験を受けてほしいです。



▲お昼休みは職場の仲間とサッカー



# 土木職員が携わる主要な事業

## 道路事業

### 広域的な道路ネットワークの整備

地域間交流や物流を促進し、地域を豊かにする道路ネットワークの整備を実施しています。



### 交通安全対策

歩行者や自転車等の道路利用者が安全に通行するための交通安全対策を実施しています。



### 道路施設の老朽化対策

橋梁、トンネル、舗装等の道路施設を適正に管理し、持続可能な道路環境を構築しています。



[管理施設(R6.4時点)]

- 243路線(2,788km)
- 3,256橋梁
- 151トンネル

### 橋梁の整備

新たな橋梁整備や老朽化した橋梁の架け替えなどを実施しています。



### 道路防災対策

大雨等の自然災害に強い道路防災対策を実施しています。



### 新たな技術の活用(DX)

新たな技術(DX)を積極的に活用し、効率的・効果的に業務に取り組んでいます。





## 治水事業

### 県民生活の安全・安心と県土を守る

台風、大雨等による浸水被害が県内各地で発生しています。これらの被害を未然に防ぐため、河川の拡幅や放水路、遊水地などの整備や、環境に配慮した水辺づくり等を行うとともに、河川の適正な管理と秩序ある利用の促進をしています。



沼川新放水路〔整備中〕（沼津市）



太田川ダム（森町）

#### 〔管理施設(R6.4.1時点)〕

- 一級河川6水系261河川1,374km
- 二級河川83水系259河川1,203km
- 水管理・国土保全局海岸132.9km

## 土砂災害対策事業

### 地域の皆さんの生命、財産を守る

県内では毎年約50件の土砂災害が発生しています。これらの被害を未然に防ぐため、砂防堰堤や、急傾斜地崩壊防止施設、地すべり防止施設などを整備するハード対策と土砂災害警戒区域等の指定や市町の警戒避難体制の整備を促進する等のソフト対策を進めています。



砂防堰堤（賀茂郡西伊豆町）



住民を対象とした防災講習会の様子（掛川市）

区分	土砂災害警戒区域数 (R6. 3. 31時点)
土石流	5,028溪流
地すべり	347箇所
急傾斜地	12,867箇所
合計	18,242箇所

## 地震による津波対策（海岸事業等）

静岡県では、地震・津波対策アクションプログラム2023を策定し、10年間に実施する具体的な対策と数値目標・達成時期を定め、想定される被害をできる限り軽減する「減災」と「被災後生活の健全化」を目指しています。[減災目標：令和7年度までの3年間で想定犠牲者の9割減災を達成し、その後も9割以上の減災を維持]

その中で、重点施策の公助の取組として「ハード整備の着実な推進」を位置付け、津波対策に取り組んでいます。

### <静岡県地震・津波対策アクションプログラム2023（R5.3策定）>

#### 基本理念

##### 減災

- ◆ 地震・津波から着実に命を守る
- ◆ 被災後も命と健康を守り、生活再建に繋げる
- ◆ 地域を迅速に復旧し、復興へ繋げる

##### 被災後生活の健全化

#### 事業期間

10年間 令和5～14年度

#### 全体事業費

約3,100億円

**津波を防ぐ施設**は、想定犠牲者の大半を占める津波から県民の命を守る上で非常に重要であるとともに、浸水想定区域内の資産の保全に大きく寄与することから、レベル1の津波を防ぐ高さの確保と質的な強化を引き続き推進します。

#### ●堤防の整備



相良須々木海岸（牧之原市）

#### ●水門の整備



坂口谷水門〔整備中〕（牧之原市・吉田町）

**津波からの避難**については、津波到達時間内に安全に避難できるよう、津波避難タワーや命山の設置、津波避難ビルの指定、避難路の整備等の支援により、全ての県民が自らの命を守ることができる環境の整備に努めます。

#### ●津波避難施設の設置



津波避難複合施設「テラス オレンジ トイ」（伊豆市）

#### ●津波災害警戒区域の指定

最大クラスの津波により浸水が想定される沿岸域で警戒避難体制の整備を行う「津波災害警戒区域」の指定を、地域の特性や市町の意向を尊重して、丁寧に進めています。





## 災害復旧事業

### 被災した土木施設の早期復旧

豪雨や地震等により被災した道路や河川護岸等の公共土木施設を、地域の暮らしや産業等を守るために、1日も早い復旧に努めています。



(一) 相俣岡部線 公共土木施設災害復旧事業 (藤枝市岡部町玉取)

## 港湾事業

### 豊かな暮らしを支える港湾の整備(物流・産業)

港湾は、世界とつながり、暮らしを支える物流の拠点となっています。迅速かつ効率的で、安全な物流環境を構築するため、防波堤や岸壁、道路、航路(浚渫)の他、荷役する機械や津波救命艇など、港湾に関する様々な施設を整備しています。



国際拠点港湾 清水港

#### [管理施設(R6.3.31時点)]

- 国際拠点港湾 清水港
- 重要港湾 田子の浦港、御前崎港
- 地方港湾 11港湾
- 港湾局海岸83.2km



海外と定期航路でつなぐ新興津コテナミル

### 豊かな暮らしを支える港湾の整備(交流・生活・環境)

港湾は、豊かな水辺空間を有しており、交流・賑わいの拠点となっています。人々が海辺を散策しながら集い、優れた景観を堪能できる水辺空間を創出します。また、クルーズ船や大型のプレジャーボートなどの受入れ環境を整備し、観光を核とした地域の活性化も図ります。



新たな駿河湾フェリー乗降場となる清水港江尻地区  
3次元点群データを活用したイメージ図



清水港に寄港するクルーズ船



クルーズ船寄港時の岸壁のにぎわい



## 漁港事業

### 水産物の効率的な供給を支える漁港の整備

水産業の振興及び水産物の安全で効率的な供給を支え、快適な海岸環境を創造するため、防波堤や岸壁、道路、航路(浚渫)の他、緑地なども整備しています。

[管理施設(R6.3.31時点)]

- 8漁港
- 水産庁海岸39.2km



日本一の陸揚金額を誇る焼津漁港(2023年統計)



カツオの水揚げの様子



整備した大水深岸壁(焼津外港-9.0m西岸壁)



焼津漁港 アクリル板を使用した津波胸壁

## 集約連携型都市づくりの推進

### 人口減少社会に対応した持続可能なまちの形成

「コンパクト・プラス・ネットワーク」のまちづくりを進めています。

- 家の近くに、病院や役所、お店があると便利だね。住むのも駅の近くが暮らしやすいよ。
- 歩いて暮らせるまち、歩道や自転車道が整備されて暮らしやすいまちが理想だね。
- 鉄道やバスがないと、車を運転できない人は買い物できなくなっちゃう！



## 美しい景観の創造

### 多彩で美しい景観を「守り・育て・創る」

富士山や駿河湾などの自然景観や各地域の歴史・文化を背景とした町並など、美しい景観形成に取り組んでいます。

#### 【屋外広告物の是正指導】



【景観学習】



【静岡県景観賞 顕彰】



【景観形成の広報・啓発】

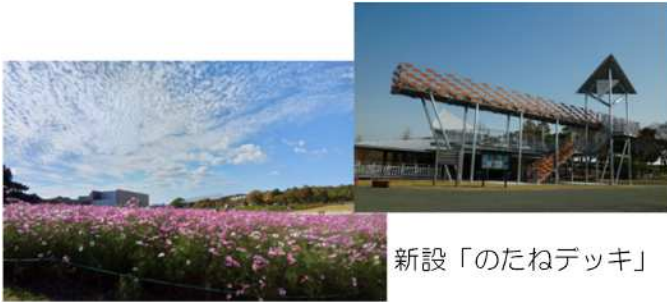




## 都市公園事業

### 人々が集う緑の空間やレクリエーションの場を創出

憩いや運動、レクリエーションなどの拠点となる  
県営都市公園の整備を進めています。



新設「のたねデッキ」

浜名湖ガーデンパーク（都市公園維持管理事業）

## 市街地開発事業

### 快適で安全なまちづくりの推進

土地区画整理事業や市街地再開発事業等による  
良好な市街地の形成を支援しています。



「浜名湖西岸地区（湖西市）」  
（土地区画整理事業）

## 街路・鉄道高架事業

### 都市における人や物の円滑な移動を確保

円滑な交通と安全で快適な自転車・歩行者空間  
を確保するための整備を進めています。



「都市計画道路 沼津南一色線（完成イメージ）」  
（沼津駅付近鉄道高架事業）

## 生活排水処理事業

### 生活排水を処理し、良好な生活環境を確保

下水道は息の長い事業ですが、整備や普及促進により着実に水質の維持・改善を進めています。



「狩野川西部浄化センター」（流域下水道事業）

## 水道事業・工業用水道事業

### 県民への生活用水の供給

水道事業では、関係市町へ良質な生活用水を安定的に供給しています。

### 県内企業への工業用水の供給

工業用水道事業では、多量の水を使用する県下工業地域の企業等へ、  
低廉な工業用水を安定的に供給しています。



ふじさん工業用水道 厚原浄水場



耐震化が完了した貯水施設

## 地域振興整備事業

### 産業基盤である企業の事業用地の整備

地域振興を図るため、企業誘致を進める市町と連携し  
工業用地を造成・供給しています。

「藤枝高田工業団地」（藤枝市） →  
（開発面積10.2ヘクタール、6社誘致）





## 公共事業のサポート

社会インフラ整備がより円滑に進むように、新技術・新工法の募集のほか、適正な入札制度や品質の良い土木施設ができるような取組をしています。

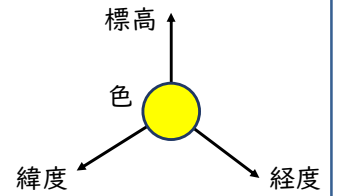


近未来の土木の仕事（イメージ）→

## VIRTUAL SHIZUOKA



### 構成するデータ



県全体を5千億点以上で構成

### 県内の取得状況



- VIRTUAL SHIZUOKA は、県土全体をレーザスキャナ等で広範囲に測量して「3次元点群データ」を取得・蓄積し、データをオープン化する取組。
- 簡単に言えば、県土を“まるごとアーカイブ化”するプロジェクト。このデータは、『デジタルツイン時代』における新たな社会インフラの基盤として、また社会の課題解決の処方箋として、インフラの維持管理、防災対策、観光や自動運転、エンタメなど様々な場面や分野で使われています。

詳しい活用事例はHPで



## VIRTUAL SHIZUOKA データは様々な分野で活用



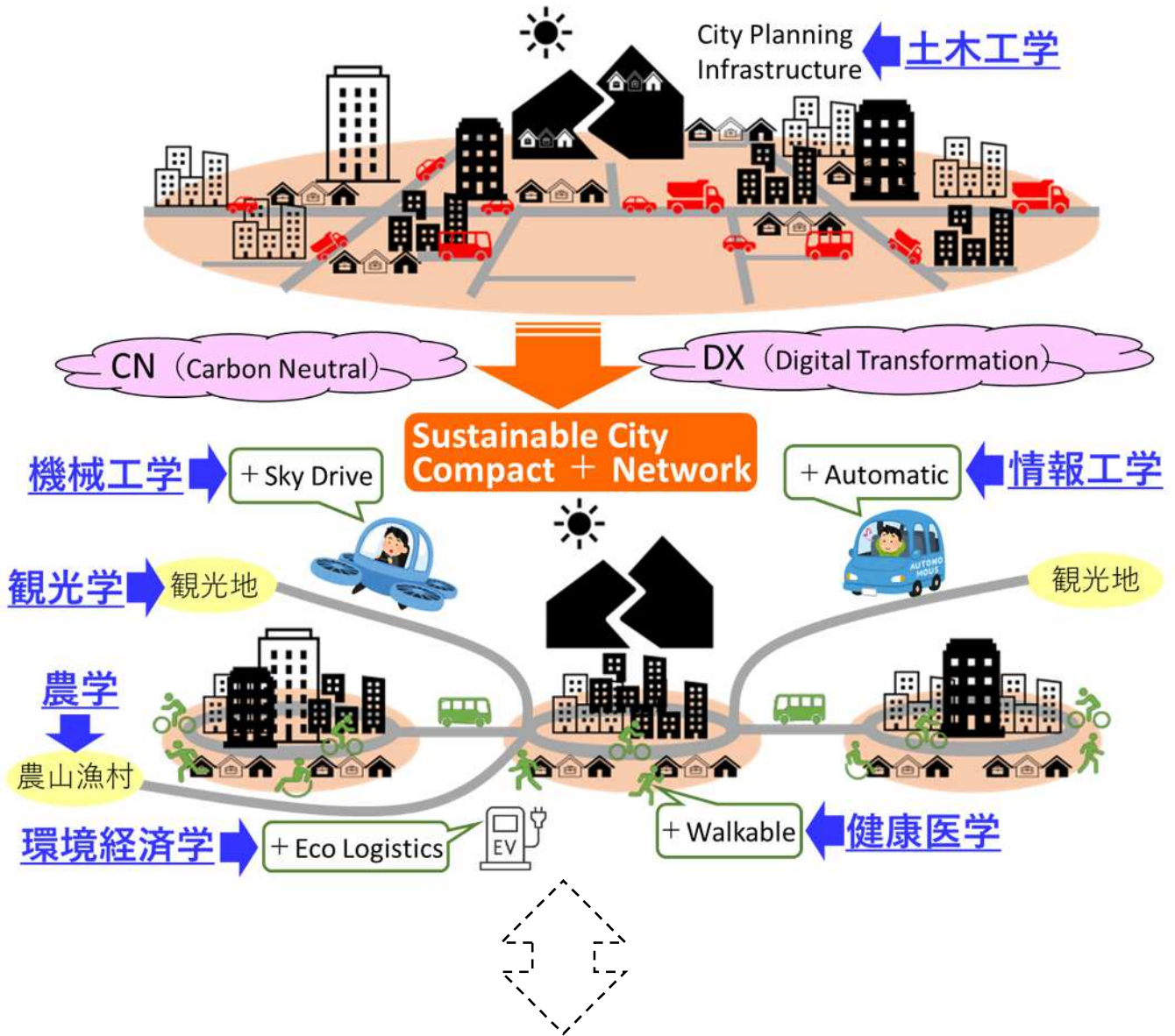


# Next Doboku

脱炭素(カーボンニュートラル)やDX(デジタルトランスフォーメーション)への対応など、わたしたちを取り巻く社会情勢は目まぐるしく変化しています。

こうした状況において、地域の生活や産業を支える社会インフラ整備は、土木工学だけでなく、機械工学や情報工学、観光学、健康医学など、さまざまな分野との連携や多様な専門家との対話を行いながら、『持続可能なまちづくり』を目指していくことが大切です。

皆さんも、「いっしょに、未来の地域づくり」をしてみませんか？



## 国が描く将来イメージ

出典：2040年、道路の景色が変わる  
～人々の幸せにつながる道路～ (国土交通省)



市街地のイメージ



住宅街のイメージ



# 戦略的PR

社会インフラが、広く県民に理解・信頼され、円滑に公共事業を推進できるようにするとともに、建設産業全体の発展を図るため、産学官連携により「静岡どぼくらぶ」※の取組を拡大し、戦略的なPRを推進しています。

## ※「静岡どぼくらぶ」って何？

詳しくはコチラ→



土木の将来、静岡県の未来をともに考え、土木の現場でつながる広いサークル(仲間)です。

## ●「静岡どぼくらぶ」講座

将来の担い手確保や建設産業への理解促進に向けて、県内の小中学生、高校生などを対象とした現場見学や出前講座、実学講座によるキャリア教育を実施しています。



現場見学会



出前講座

## ●静岡どぼカード

ダイナミックなインフラを紹介するカードを発行し、インフラを訪問するきっかけを作っています。

現在およそ80種類あるわ。カードに載っている場所、全部行ったことあるわよね…？



おもて



うら

## ●「わたしの“未来のまち”はこんな“まち”」図画コンクール

明日を担う子供たちが郷土(静岡)への愛着を持ってもらえるように、夢のある“まち”を描く、図画コンクール2024を実施しました。



←図画コンクールに関する情報を公開しています。



▲小学生の部 最優秀賞



▲中学生の部 最優秀賞

## ●VIRTUAL SHIZUOKAを活用した図画コンクール副賞動画

「わたしの“未来のまち”はこんな“まち”」図画コンクール2023の副賞として、最優秀賞の作品をVIRTUAL SHIZUOKA上で再現した動画を作成しました。



▲2023年度受賞作品



▼作成された動画

youtubeチャンネルで配信中!

## ●「静岡どぼくらぶ」youtube動画配信

建設産業のPRや事業紹介等に関わる動画をyoutubeに投稿しています。

また、新たな広報戦略として、VIRTUAL SHIZUOKAを活用した建設産業やインフラの魅力等を伝える動画を配信していきます。



←静岡どぼくらぶ youtubeチャンネルはこちら



# #静岡県交通基盤部 SNSで情報発信中！



土木・建築の旬な話題を見たい



静岡県建築管理局  
Instagram



しずおか×みち  
Instagram



静岡県港湾局  
Instagram



静岡景観賞  
Instagram



Virtual Shizuoka  
X

地域に密着した  
情報が見たい



富士土木事務所  
X



熱海土木事務所  
X



浜松土木事務所  
Instagram



袋井土木事務所  
Instagram



島田土木事務所  
Instagram



田子の浦港  
Instagram



沼津土木事務所  
X



馬込川水門  
YouTube



Spark!  
「遠州灘海浜公園  
(篠原地区)」  
Facebook



下田土木事務所  
Instagram



下田土木事務所  
X



## 過去5年土木職試験実施状況

## 静岡県職員採用総合案内

### < 大学卒業程度 >

年度	採用 予定数	1次試験 受験者 (a)	1次試験 合格者	最終 合格者 (b)	最終 倍率 (a)/(b)
R2	17	31	27	18	1.7
R3	16	26	19	15	1.7
R4	18	32	28	20	1.6
R5早期	5	49	25	20	2.5
R5	19	14	13	9	1.6
R6早期	6	21	19	19	1.1
R6	30	12	9	8	1.5
R6定期外	10	4	3	2	2.0

静岡県職員採用試験の全般的な情報は、  
こちらをご覧ください。  
<http://www.pref.shizuoka.jp/zinzi/employ/info/info.html>

### < 高等学校卒業程度 >

年度	採用 予定数	1次試験 受験者 (a)	1次試験 合格者	最終 合格者 (b)	最終 倍率 (a)/(b)
R2	3	7	4	4	1.8
R3	3	8	7	5	1.6
R4	3	9	8	6	1.5
R5	3	3	3	3	1.0
R6	3	5	4	2	2.5

## 静岡県土木職に関する情報発信

Instagram 始めました!

### Instagram「静岡県土木職採用担当」

Follow Me!

採用試験に関する情報や現場見学、インターンシップ募集の案内、お仕事紹介など、就職活動中の方に向けた情報発信をしています。



SHIZUOKAKEN.DOBOKU

## 関連パンフレット

採用案内のほか、静岡県土木の事業・取組の紹介や目指している姿がまとまっているパンフレット等をHPで公開しています。



技術職PR動画



ダイジェスト編



土木職編





▲インフラミンゴ※

※インフラについて興味津々で、  
常に、首が「？」マーク。  
驚くと首が「！」マークになる。



静岡県 交通基盤部 政策管理局

〒420-8601 静岡市葵区追手町9-6

電話番号 054-221-3190

E-mail [kensei@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:kensei@pref.shizuoka.lg.jp)